

みんなで子育て No.9

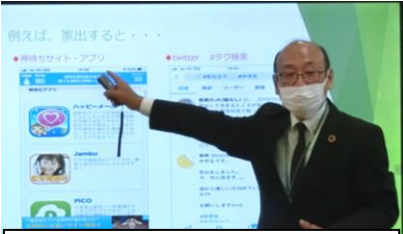


子どもや保護者を守る熱い思いが伝わってきます。

瑞穂市立生津小学校

子ども達の安全なネット利用のために 10月28日(木)

講演会型



講師：瑞穂市市民安全対策監
杉江 功 氏

○感染対策 広い会場 消毒 体温測定等

- ・杉江さんは、瑞穂市市民安全対策監として8年目元警察官 青少年に関わる仕事が多く経験豊富
- ・現在、子ども達のSNSの安全な利用について、児童、職員に対しての指導を継続的に行っています。

★講演内容：

●警察で勤務した経験を活かし、今の時代に合わせて青少年の犯罪や被害についてのお話

●正常な世界から、ネットでダイレクトに異常な世界へ

- ・以前は、非行は段階を踏んで進んでいく事が大方であったが、現在はネットでダイレクトに事件や非行につながる。
- ・子どもは相手から誘われると普通に会うつもりで心の準備がない。一方、相手の大人は最初から会うこと以外の意図がある。
- ・ネットは東京だけでなく、世界中どこでもつながる可能性もある。

●気になること

・子どもを妄信する保護者。・子どもより自分の人生を優先する親

●小学生に話した内容

・いつでもどこでも使えるLINE やスマホをどの様につかっているのか親と話をする。

・神待ちサイト (家出の子が利用する出会い系サイト)

・普通に見えるサイトが危険 ネットで知り合った人と会わない。

・児童が自分で自分を撮影した写真を送ることが多くなっている。

●保護者に伝えたいこと

・児童買春事案は高止まりである。

・被害にあっても、被害届を出すことが嫌でためらってしまう。

・児童自身の心も体も被害に遭っているが、その認識がない。

●小学生のSNSの被害が多くなっている。

・フィルタリングにより、必要なもののみ見せる。

・親は子どもにスマホを渡したら、そのまま放置している傾向がある。

・最近、ゲームをネットにつなぎ、その中で連携を取りながら同じ目標に向かって協力するようなオンラインゲームが多い。

・子どもと一緒にゲームをしてみる。子どもの興味に関心を持つ。

・オンラインゲームは、親が見ている前で行うようにする。

・ペアレンタルコントロールを利用する。

・自分の子どもに、大切な存在であるという気持ちを伝える。

・困ったら警察に相談できる。

被害にあわないために

○子どもがオンラインゲームに興味をもったら、子どもだけでなく親自身も一緒にやってみる

- ▶一緒にやることで、そのゲームの通信機能や危険性、他の人と文字でやりとりするの、通話できるか、などを把握する。
- ▶「ゲーム=悪」ではない。頭ごなしに否定することは逆効果
- ▶子ども好きなものに一緒に興味を持ち、危険性を身をもって実感する。

○オンラインゲームをする場所を親の目が届く場所に限定

- ▶親の見ていない場所で性的な会話はできない。
- ▶待ち合わせや年齢の話をしていたら規制できる。
- ▶自分の部屋外、トイレに持ち込まず禁止する。



●保護者の感想

・本日はありがとうございます。特に印象に残ったのが、実際に SNS やインターネットから犯罪へつながってしまった事例です。あまり身近にはない話だったので、これから成長していく子どもたちが大事な存在であることをしっかり伝え、未然に犯罪に巻き込まれないようにし、万が一巻き込まれたときに親としてしっかり対処できるようにしたいと思いました。ゲーム・携帯を手にしたときはフィルタリングの実施など親の目が届くところで使用させる等できる限りのことをしたいです。

・オンラインゲームを頭ごなしにダメと言っていたので、「一緒にやってみる」とおっしゃったことにハッと気づかされました。やっぱり言うだけでは伝わらないことがあるので、帰ってきたら一度一緒にやってみようと思いました。

●コメント

講師が警察官時代から青少年に関わっていることから、子どもが被害に遭わないために、子どもの目線でのお話があり、具体的な事例を基にされていることで、保護者も危機感を感じることができています。児童や先生方にもお話をされていることから、SNSの被害をなくしたいという熱意が感じられました。

保護者の感想にもあったように子どもがゲームでどんなことをしているのかを知るには、一緒にゲームをするというお話は納得で、具体的な方法だと感じました。



はしま子育て支援チーム：

2010年、児童センターと協賛でボランティアが中心になり、子育て世代の悩みを聞きながら支援をする会を立ち上げました。三神先生が毎回講演されて家庭教育の具体的な関わりについて学べるようになっていきました。主任児童委員・民生委員が参加し、親子への支援が強くなりました。毎回親子での参加者があり、学童保育の指導者等も参加し、子どもに関わる学びのお話が月1回盛んに行われています。

★講演内容

資料を基に、障害のある子への対応のお話をされました。

●重要なこととして

- ◎タイムスリップ現象 過去にイヤだった経験のあることをきっかけに思い出し、泣き出したりパニックになったりすることがあります。こういったときに「どうしたの?」と聞かないで、ただそばにいるか、抱っこしてスキンシップを大事にしましょう。
- ・一人でいられる場所や職員室で静かにして、泣き止んだらほめてあげることが大事。
- ・遊びの中に入りたくても言えなくて、嫌なことをしたりするときは、「入れて」「あそぼ」と言ってみようと言います。
- 子どもの立場、気持ちを汲み取ることが大事
- 講話の後は「子どもで気になることはないですか?」と相談の場面へ子どもが男の子3人 真ん中の子の扱いについて質問。
- ★三神先生より:「真ん中っこ」というものがあります。

- ・お兄ちゃんは初めての子で何もかもよく観られている。下の子は小さくてかわいいと注目を浴び、真ん中はあまり見られていない不満があるのですが、親は気付きにくいのです。
- ・夜尿症がいつまでもある確率も高い。
- ・絵本を読む順番も気になる場合もあるので、日によって今日はお兄ちゃんから、今日は真ん中から、と言うように平等に進めます。
- ・1対1の時間が必要で、親から真ん中の子に「あら可愛い!抱っこさせて」と言って抱っこして、愛情を注いでいるサインを送る時間も必要です。
- ◎経験者より、抱っこや父親による相撲も大事。ハイタッチで触るのもよい。
- ・アカゲザルを使ったハーローの実験。愛着形成においてスキンシップの重要性
- ◎イヤイヤ期:系電話の利用で、話す・聴く役割を明確にできます。ルールのある遊びが有効です。自制心が身につきます。
- 質問:小さい子に性に関する興味がある場合どうしたらよいか?
「コウノトリがはこんだんじゃないよ!」という絵本を紹介されました。

●参加者の感想

ここで話せてよかった。自分だけじゃないと安心しました。お母さん同士のあつちあつち、子育ての本をもらって読むこともあります。三神先生の回答には専門的な知識、引き出しが多く、安心します。

講演会型・子育てサロン型

講師：修文大学幼児教育学科 教授 三神 廣子 氏



講話の資料

発達障害の子は、感覚が正常でない場合も多い。
 ○「聴覚過敏」 人が集まることで生じるざわつきが、耳に突き刺さるように聞こえてしまう。
 ◎ そのことを理解し、長期間を見通して、徐々に慣らしてあげようとする努力が必要。
 ◎「こだわり」
 ○ 自閉症の子は一つのことを自分が納得するまでしつづけてしまうという「同一性保持」という障害を持っている。そのためなかなかいわれたことをやれない。
 ◎時間を区切って「この時計の針が6になったら、やめて〇〇をしようね」と、時計を見せたり、タイマーをセットして「ブーになったらやめようね」などと視覚や聴覚を刺激するような方法が効果的。
 集団活動への参加の促し方の基本
 ◎「保育者との信頼関係の確立」 いきなり集団の中に入れることを目標とせず、まずは保育者との一対一の信頼関係を確立させることを重視し、それからグループに参加させる。
 ◎子どもを常に見守り、その子が集団に興味を示し、入りたいというように



子育て講座 & 子育て相談

～ 聴いてスッキリ！ 話してスッキリ！～
 イクメン(母親)応援子育て講座

○日時 令和 3年 10月27日(水) 10:30～

○場所 はしま福祉ふれあい会館2階 コミュニケーションルーム

○講師 修文大学幼児教育学部 幼児教育学科教授 名古屋芸術大学名誉教授 元クリエイティブ産業局長 三神 廣子 先生

○内容 ◎ 「発達障がいのある子への具体的な対応について」
 子育てを通してもう一度自分を育てましょう!
 これだけ知っておけばいい! 子育てのポイント!!
 ◎ 託児あります・参加費無料・おもしろきゃべつです

講師紹介
 名古屋大学研究助手を経て、カリフォルニア大学(パークレイ校)教育学大学院へ留学。各地で多くの講演を行っています。
 親しみやすい人柄に加え実際に子育てと仕事を両立してきた実践論! 時代の先駆者です。羽島での子育て講演・相談は13年目に入りました。何でも相談受け付けます。

主 催 :はしま子育て支援チーム・共賛・児童センター

本日の会の最後に、次回の話
 題について
 「兄弟関係の特性」にしまし
 ようと話が進みました。その時
 の興味に対応できる柔軟さが
 いいですね。



コメント

子育て中の方が楽に参加できるように、託児ができる環境があります。学びだけでなく、気になることわからないことを話すと必ず答えが返ってきます。専門家や経験者がいることで安心して聞けるという事、雰囲気があたたかく居心地もよいです。

この活動を毎月行い13年目になります。主任児童委員・民生委員さんによる会ですが普段から家庭や子どもに関わられているという姿勢が継続されていて素晴らしいですね。

文部科学省が示している家庭教育支援チームに該当するのではないのでしょうか。

本巣市立席田小学校 「わがやの小さなHAPPY」在宅取組

席田小学校 PTA 会員の皆さま
 令和3年7月15日
 PTA 母親委員長 (席田っ子を育てる会) PTA 会長 校長
案内

第1回家庭教育学級「わがやの小さなHAPPY」の実践について(依頼)

盛夏の候、PTA会員の皆さまにおかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はPTA活動に御理解御協力をいただきまして誠にありがとうございます。さて、毎年夏休み前にお子様を通じて配布し、取り組んでいただいています「1家庭1ボランティア」を平成27年度から、本校では家庭教育学級(在宅取組型)並びに「席田っ子を育てる会」の一事業として取り組んでいます。今年度も第1回家庭教育学級として引き続き取り組んでまいります。全家庭で実践され、夏休み明けに学校に御提出ください。

本校では、先年PTAが作成されました「席田小家庭教育8か条～みんなで作るよう席田っ子～」を大切に引き継いでおります。是非、それも参考にさせていただき、どのようなことを実践するか御家庭で相談され、取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

- 取組の名称 「わがやの小さなHAPPY」
- 実践の仕方 親子で一緒に、あるいは、親の見守りのもと子どもが取り組む。
- 実践期間 夏休み期間中、8日間を目標に取り組んでみましょう。
- 実践内容 できる限り「ボランティア」的な内容にすることをおすすめします。
 (例) ・ラジオ体操後に公園の草を20本は抜く。
 ・毎朝、犬の散歩をしながら道路のゴミ拾いをする。
 ・地域の花だんの水やりをする。
 ・近所の高齢者施設を訪問してふれあいの時間をもつ。
 ・自分の地域のゴミ収集所で、収集後に掃除をする。
- 提出 お子様は別紙色塗りのカードを配付します。夏休み明け、担任に提出してください。

席田小学校は毎年1家庭1ボランティアの活動を「わが家の小さなHAPPY」として取り組んでいます。この取組は「席田っ子を育てる会」の活動としても実施されています。

1～3年生用
わがやの小さなHAPPY
 ～誰かのために 何かができる!～

席田小学校版

年 組 氏名

ほく・わたしが チャレンジすること
お手伝い

チャレンジスタート! できたらここにマークをいれようね

◇かんそう◇ わたしがお手伝いをすると家族が「ありがとう」と言ってくれてうれいので、わたしは、毎日いろいろお手伝いを見つけてがんばりました。

◇おうちの方から◇ 自分からお手伝いを見つけてくれたり、「何かない?」といつも気にかけてくれて、たくさんがんばってくれてたくさん励まされました。ありがとうございます。

母親委員長・席田っ子を育てる会

4～6年生用
わがやの小さなHAPPY
 ～誰かのために 何かができる!～

席田小学校版

年 組 氏名

ほく・わたしが チャレンジすること
公民館の花だんの草取り

★できた月日を塗りごう。

★取り組んでいる時の写真を貼ったり絵を描いたりしてね。

感想:夏は草を取っても次から次へと生えてきました。毎回きれいになるたびに何かを植えたいなと思いました。

◇家の人から一言◇ 地区の花置がいつ見てもきれいな状態に保っていられました。

母親委員長・席田っ子を育てる会

★席田小 家庭教育8か条

子どもたちの幸せのために

- すべての命が世界でひとつだけです。命の大切さ
- 笑顔であいさつを習慣にしましょう。あいさつの励行
- 「愛しているよ」のメッセージを伝えましょう。家族の信頼感
- 「ありがとう」は素敵な言葉です。感謝の心
- 席田小家庭教育8か条～みんなで育てよう席田っ子～。善悪の区別
- 家族団らんは心と体を元気にします。家族の団らん
- がまん力は明日の子どもを支えます。我慢する心

席田家庭教育8か条プロジェクトカード

このプロジェクトカードは、「席田家庭教育8か条」の7つの集みや「わが家の1か条」を参考に家族で取り組む目標を決め、実践するためのものです。家族で取り組むことを決めて、ご家庭の見えるところに掲示しましょう。そして、その結果について家族で振り返りましょう。(第8条の実践です)

例:「毎週〇曜日はノレテレビ・ノゲームデー」「毎月〇日は親子クッキング」「毎週〇曜日は親子読書デー」

我が家のテーマ

このカードは、まさに「話そう!語ろう!わが家の約束」運動そのものですね。PTAでこのように大事にしたい内容を示すというのは、子どもをみんなで育てようといった意識が強いのだと感じます。

集められたカードを使って校内掲示がされています。



コメント

平成21年に設立された「席田っ子を育てる会」では、東日本大震災を教訓に、下校中に地震が起きたことを想定して地域の公民館や神社へ児童が避難する「命を守る訓練 地域型」を続けられていると聞きました。この会には自治会長さんも参加されています。登校中の挨拶にも取り組まれていて、学校・家庭・地域のつながりを大事にされているのがわかります。

この活動があるから、「わがやの小さなHAPPY」の取組には地域の「公民館の花だんの草取り」といったことも思いつくようですね。

家庭教育への取組が、地域ボランティアに発展していく一つの形のように感じます。



岐阜市立長森中学校 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動 在宅取組その1

PTA 会員の皆様
令和3年7月20日
岐阜市立長森中学校 PTA 会長 成人教育委員長
案内

第1回家庭教育学級のご案内

保護者の皆様には、日頃から PTA 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。夏休み期間に親子での会話やふれあい、親子時間を増やしたいと考え、在宅で行える家庭教育学級を企画しました。保護者の皆様にはお忙しい中大変な部分があるかと思いますが、お子さんと一緒に取り組んでいただくと嬉しく思います。つきましては、下記の要領で行い、実践カード（裏面）に記入してください。夏休み期間終了後に学校へ提出していただきますようお願い致します。

記
「話そう!語ろう!我が家の約束」のやり方

- ① お子さんと保護者がそれぞれ自分の約束を決める
親子で同一、別々でも OK。親子で話し合い、一緒に取り組むことを目的とする
子どもの例 「家族に挨拶をする」「ありがたいを伝える」「スマホは〇時まで」「お手伝いをする」「規則正しい生活をする」「勉強を〇時間する」
保護者の例 「1日1つ以上家族を愛する」「〇〇しなさいと言わないことを心がける」「マイナスな言葉を使わない」「家族・フランスが取れた食事を作る」
同一の例 「同じ本を読む」「食事の準備を一緒にする」
- ② 夏休み期間中、1週間を1単位に各自家庭で取り組む
- ③ 設定した約束の達成度を自己評価してパーセンテージを記入する
- ④ 保護者は子どもの、子どもは保護者の達成度を評価する
- ⑤ 子どもから家族へ、保護者から子どもへ、メッセージを記入する
- ⑥ 家族でお互いの取り組みを振り返り、感想や反省を記入する
- ⑦ 夏休み期間終了後、8/30(月)に担任へ提出する

後日、皆様にご取り組みの様子をまとめ、お知らせしたいと思います。その際には、取組内容やコメントを一部採録して紹介させていただきますことでもあります。子ども達の健やかな成長のため、岐阜県も「話そう!語ろう!我が家の約束」運動を推進しています。

このようなカードです。中の文字は例として入れました。

令和3年度 長森中学校 在宅家庭教育学級 一年 組 名前

「話そう!語ろう!我が家の約束」実践カード

実施期間 月 日 ~ 月 日

我が家の約束

＜自分の約束＞
親に言われたらすぐに反応する

＜保護者の約束＞
1日5分以上、子どもと話す

達成度の自己評価 保護者からの評価 達成度の自己評価 子どもからの評価

30% 70% 30% 50%

＜子どもから家族へのメッセージ＞
前よりもお父さんの方から話してくれてうれしかった。

＜保護者から子どもへのメッセージ＞
この目標を決めた後、会話が増えて楽しかったよ。

取り組みを終えた感想や反省など
約束を決めるところから話ができ、話す機会が増えて、よい雰囲気になりました。これからも続けたいです。

夏休み終了後に担任へ先生へ提出してください
長森中学校 成人教育委員会

成人教育委員長さんが中学生が取り組める内容について県の家庭教育のホームページを調べられました。その中で、令和2年度の「家庭教育学級の取組紹介」で多治見市立南ヶ丘中学校の取組があることが分かり、R2年度の東濃地区の家庭教育応援通信も見てその詳細も確認しました。親子がそれぞれ約束を決めて取組自己評価もできる内容が気に入ったので、カードをそのままに利用しようと考え、案内文を作成しました。482人分ものカードが提出されました。集計は少人数で行ったそうです。グラフ化もされ大変な作業だったと思います。報告の方法も研究されたそうです。

PTA 会員の皆様
令和3年9月1日
岐阜市立長森中学校 PTA 会長 成人教育委員長
案内

「話そう!語ろう!我が家の約束」御礼と報告

保護者の皆様には、日頃から PTA 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。夏休み期間に親子での会話やふれあい、親子時間を増やしたいと考え、企画した「話そう!語ろう!我が家の約束」に、たくさんの親子でのご参加いただき、ありがとうございました。この取り組みを通して、より一層家族の絆を深めることができたのではないかと思います。取組の内容をいくつか紹介させていただきます。

約束の主な内訳

学年	子ども編	保護者編
1年生	75%	95%
2年生	77%	90%
3年生	80%	90%

生活面の約束ランキング

子ども編

1. 手洗い 32%
2. 勉強 25%
3. 生活リズム 20%

保護者編

1. 子どもの身の回り 22%
2. 食事 21%
3. あいさつ 20%

他にもこんな取組がありました。

- ・ゲーム、スマホの使用時間を守る。
- ・家族揃って夕食を食べる。
- ・1日1時間勉強をする。
- ・マイナスな言葉を使わない。
- ・自分と妹ごはんを作る。
- ・町内を走る。
- ・笑顔でいる。
- ・手洗いうがいをする。
- ・過ごしやすい環境を作る。
- ・子どもを信じる。

まとめ

1. 2年生は、「手洗いや生活リズム」に関する約束が、3年生は勉強に関する約束が多かったように思います。

～企画へ感謝～

子どもから

保護者から

「1日の最後に家族の良いところを発表する」
普段は言えなかった家族の良いところを、ありのままに話してあげて、仲が深まった。

「感謝の気持ち伝える」
手伝いをすると、笑顔でありがとうと言ってくれてうれしかった。自分から意識して、感謝の気持ちを伝えられると良いと思います。

「毎日新聞を読む」
新聞もおもしろい。

「弟と妹の世話をする」
いつも通りのことをして、約束を守っていたので、すてきと思いました。

「ありがとうを伝える」
なかなかありがとうが言えなかった。これからは、しっかりありがとうが言える人になりたいです。でも、いつもありがとう。

「何か言われたらすぐに返事・行動する」
前よりもお父さんの方から話をつけてくれたように思ったので、うれしかったです。

「ハムスターの世話を一緒にする」
お母さんと話す時間が、とても大切で楽しい時間だった。これからも、たくさん楽しい時間をともにしたい。

「早寝(23時)早起き(8時)」
これからは健康で過ごしていこう。

「靴下はしっかり洗濯機の中へ」
お父さんが入れないのを真似してしまった。いいことだけ真似できる人になりたい。

「1日の最後に家族の良いところを発表する」
我々の日常の中で、「小さなキラリ」を見つけることができ、家族の絆が深まった。

「感謝の気持ちを伝える」
やってくれることが当たり前と思わず、言葉で気持ちを伝えられるようにしたいと思いました。

「気になるニュースを話題にする」
毎日、色々な話題で話さずができて、よかったです。

「怒らない・1日1回一緒に何かする」
約束を決めるので、意識が変わるので、今後の生活に取り入れたい。守るために頑張る姿がいい。

「ありがとうを伝える」
「ありがとう」と伝えることの大切さを忘れず、心掛けていって欲しいです。いつも助けてくれてありがとう。

「1日5分以上読書と話す」
普段は用事以外で話すことが減っていたので、これをきっかけに会話を増やしていきます。

「ハムスターの世話を一緒にする」
笑いもあって、1人でやるより楽しくできたね。これからも一緒にできる日を増やしていこう!

「姉が好きアイドルの話を聞く」
SEVENTEENが13人のグループで1人から1人まで全員の名前まで無理です...。載せられなかった。

「頑張っているお父さん褒めてあげる」
本当に頑張っているお父さん褒めてあげたい。毎日遅くまで勉強して、それでもしっかり起きてくる姿が素敵でした。

あとがき 感想
「ありがとう」の言葉や、「楽しかった」という感想の言葉がとても多かったです。今回の取組を通じて、たくさんの家族が会話や笑顔が増えたことをうれしく思います。「約束づくりはきっかけづくり」です。今後の生活の中で少しでも意識しながら継続し、お家時間が増えて中、家族で過ごす時間が充実したものとなることを願っています。

次回予告
「親子で学ぶマネー講座」を企画中です。



親子で約束を決めるところが楽しかったようです。お互いに評価できる良さもありますね。まとめの通信も見やすく、代表的な約束と言葉があり、雰囲気が良く伝わります。ホームページをご覧ください、研究された成果が出ていると思います。良いものはそのまま利用する方法。いいですね。成果が出ているので安心して取り組みます。ぜひやってみてください。岐阜地区はわが家の約束運動の実施100%に取り組んでいます。委員長さんはオリジナルの取り組みも考えられました。次のページをご覧ください。

在宅取組その2 親子で学ぶマネー講座 楽しく学べます。現在取組中です。

PTA 会員の皆様 令和3年10月吉日
岐阜市立長森中学校 PTA 会長 成人教育委員長 **案内**

第2回家庭教育学級「親子で学ぶマネー講座」

保護者の皆様には、1日頃から PTA 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2022年4月1日より成人（成人）年齢が18歳へと引き上げられ、19歳も成人になります。「成年」（成人）になれば、保護者の同意がなくても高い買い物やオンラインゲームの契約が可能になる反面、「未成年者の契約取消権」（未成年を理由に契約を取り消すことが可能な特権）がなくなります。それってどういう事？どう変わるの？を分かりやすく説明してくれるオススメ動画を紹介します。今、中学生のみんなが18歳になったときに知っている事で大切なお金を守ることができます。お金について、親子で一緒に話して、考えて、学びましょう。

成人年齢引き下げをわかりやすく解説してある動画を紹介します。

ゆりやんレトリィバアのラップ動画 (1:54) 18歳が変わる アキラとマモルのバンド編 (2:18)

みんなが知っているゆりやんレトリィバアが、ラップでリズムカルに教えてくれるよ

バンドをやることになった2人。ギターとベースを購入したのだけど・・・マンガから見やすいよ。

こちらもオススメ！ クイズ王・井田司さんがナビゲーターを務める、1日経「お金の教室」の動画です。様々なジャンルの動画があるので、興味があるものを見てください。

ライブプランシミュレーションにチャレンジ！！

教育費や老後の資金運用などいくつかの場面に合わせて、簡単にシミュレーションできるホームページ（岐阜県金融広報委員会）がありますので、お時間あるときに一度覗いてみてください。シミュレーション以外にも様々な資料が掲載されています。ホームページの内容が冊子になったものもありますので、お配りすることが可能です。ご希望の方は、興味がある冊子にチェックいただき（複数可）、担任の先生へ提出してください。後日、担任の先生を通じてお渡しします。（10月末締切）

冊子を配られた方は、簡単なアンケートにご協力ください。

切り取り線 (10月末締切)

ご希望の冊子にチェックしてください。（複数可）

「これであなともひとり立ち（親子で読めませう）」 「18歳までに学ぶ契約の知恵」
 「大学生のための人生とお金の知恵（大学にかかるとお金のことなどについて掲載されています）」
 「大人のためのお金と生活の知恵（ライブプランや貯蓄運用などについて掲載されています）」

年 組 名前

成人委員長さんは、子どもたちに将来に向けて、お金について意識を高めたいという願いがありました。できれば家庭教育学級で岐阜大学 教授 大藪千穂氏の「人生設計ゲーム」をやってみたく思っていました。

★人生設計ゲーム

小学校高学年からを対象とした教材「人生設計ゲーム」です。20代から寿命まで、10年ごとに結婚や出産など自分が望むライフイベントを選び、発生したお金の収支を計算。さらに、事故や相続といった突発的なライフイベントのカードも無作為に引きます。このように現実起きる出来事を盛り込み、リアルに人生やお金について考えることを目的としています。

しかし、今年は集まってるのが難しい状況でした。在宅で学べるものがないかとネットで動画視聴して探しました。動画は1分から2分の短時間ですぐに観られるものを2つ選びQRコードもつけて、載せてあります。

さらに調べると、県庁に岐阜県金融広報委員会（県民が「健全で合理的な家計運営」を実現していくために多くの広報・学習支援活動をしています。）があり、担当者に相談しました。ライブプランに利用できる色々な資料や本が提供できることが分かり、委員長さんが窓口になって募集をすることもされています。

今年のように制約がある中でも願いをもって、独自の取り組みを考えられています。

コロナ禍だからこそ、つながろう、家族。つながろう、保護者。

今こそ、約束運動 全学校・全学年の取組実施 100%を！

（類似の取組を含めて）

〈長引くコロナ禍による影響〉

新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、保護者同士が直接会って交流する機会は減少しています。そのため、「子育て（孤育て）」の不安や悩みが膨らんでいるのではないかと思います。このような状況だからこそ、多くの人が「家族」や「社会とのつながり」をより強く意識するようになりました。

家庭教育学級に「話そう！語ろう！わが家の約束」運動（在宅取組）を取り入れることで、親子のコミュニケーションの機会や家族の話題が増え、実践の交流を通して保護者どうしが学ぶことができます。

「約束運動宅配サービス」などを利用して、実施100%をめざしましょう。

※ 上記のチラシが私立、大学附属を含む、県内全小中学校、全学年に配布されています。参考にしてください。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

運動の取組方法

- ① 家族で話し合って「わが家の約束」をつくります。
- ② 取組を実践カードに記録します。
- ③ 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- ④ 次の約束を話し合います。

家庭で教え、育みましょう！



どんな約束をつくれればいいの？

例えば…

- 毎日歯磨きをする。
- 翌日の準備をしてから寝る。
- 大きな声で挨拶をする。
- スマートフォンは夜9時まで。
- 家族みんなで掃除をしよう！

子どもだけでなく、家族みんなの約束になるように工夫をしてみましょう。

（例：「お母さん（お父さん）は〇〇するよ。」
「家族みんなで〇〇しよう。」）

どうやって思いを伝えるの？

- 子どもは、取り組んだ感想を家族に伝えます。
- 保護者は、子どもの取り組み姿を見守り、約束が守れた時には一緒に喜び、ほめましょう。
- 守れなかった時には、守れるように励ましたり、アドバイスをしたりして、子どもの成長を応援しましょう。

約束は、会話のきっかけです！
毎日の会話の積み重ねが、
子どもの笑顔を生み出し、心
を育てます。



通信7号に載せたものを再度載せました。冬休みにはぜひ約束運動を実施しましょう！

約束運動 宅配サービス

コロナウイルス感染症まん延のため、家庭教育学級が行えず、困っていませんか？

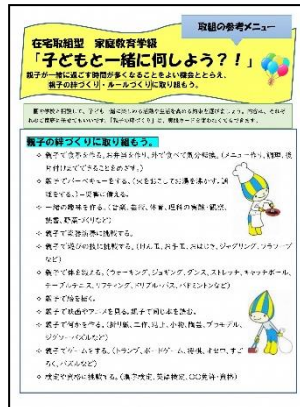
「話そう！語ろう！わが家の約束」運動なら、今からでも、らくらく開催できます。

「お電話・メール1本」で下記のおまかせデータその他、ご希望のデータをまとめて送付します。

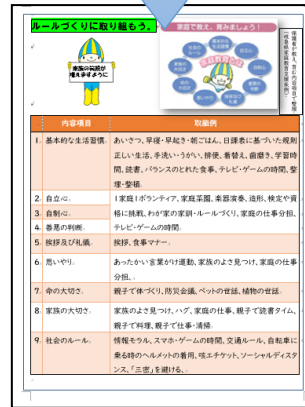
案内文を修正して、印刷して、配布するだけ！

おまかせデータ1

園や学校と相談して、子ども一緒に楽しめる活動や生活を高める約束を選びましょう。それぞれのご家庭に任せてもOK。



取組の参考メニュー



親子の絆づくり・ルールづくりのためのいろいろな取組例を紹介しています。

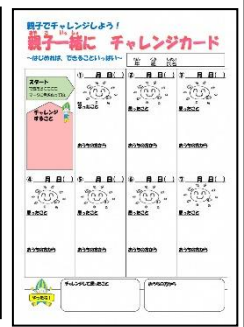
おまかせデータ2

3つの実践カード(幼児・小学校・中学校別 全7種類)

- わが家の約束実践カード
- 1家庭1ボランティアチャレンジカード
- 親子一緒にチャレンジカード

発達段階に応じた実践カード

ご希望に応じ、修正して送付します。

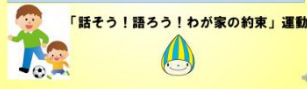


おまかせデータ3

取組み方の説明動画 QRコード付き案内文

自ら考え、解決していく子を育てるために

思いを伝え
いっしょに
やりきろう



思いを伝えいっしょにやりきろう
子どもへ伝わりやすい言葉と「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の取組方法が分かります。(YouTube 限定配信 8分25秒)

案内文は園や学校の実態に合わせて修正できます。(ワード文書)



お電話、メールは、こちらまで

岐阜県 環境生活政策課 家庭教育担当 河野
TEL:058-272-8752 (直通) (県庁内6階)
Email:kono-kazuhiko@pref.gifu.lg.jp